



めだか通信190号

桐生市立教育研究所 「あぶろーち」



今年の夏は、各地で夏祭りや花火大会などのイベントが復活し、観光地も多くの人で賑わっていたようです。皆さんの夏休みは充実した日々だったでしょうか。猛暑で体調を崩してはいないでしょうか。暑さはまだ続きそうですが、朝晩聞こえてくる虫の音は季節が着実に移り変わってきていることを伝えています。

9月8日は二十四節気の「白露」です。夜の気温が下がり、朝露が葉や草花の上で白く輝くようになります。秋はもうすぐそこにきています。

今日から2学期がスタートし「あぶろーち」や各学校でも多くの行事が予定されています。また、秋は運動や学習・読書など何をするにも良い季節です。『実りの秋』となるようにそれぞれが目標をもってスタートし、自分らしく精一杯頑張ってくれることを期待しています。

【夏休みの学習相談日・かき氷】

夏休み中に学習相談日がありました。学習相談が終わった後は、かき氷を作って楽しみました。一人一人が好みの味のかき氷を作り、おいしくいただきました。



【学習の様子】



【おかわりをしていろいろな味を楽しみました】



【メダカのつづやき】

「人生の最大の幸福は一家の和楽である。円滑なる親子、兄弟、師弟、友人の愛情に生きるより切なるものはない」

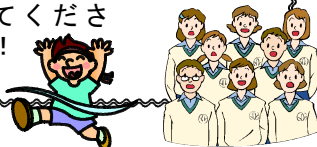
千円札の肖像になっている細菌学者「野口英世」の言葉です。貧しい家に生まれ幼いときに手にやけどを負いながらも苦勞して世界的な研究者になった野口英世にとって、人生を振り返った時に、研究の榮譽や名声、富などではなく、最も長い時間を共に過ごす家庭での和やかで楽しい時間「和楽」が一番の幸福であると考えたのかもしれない。また、人間関係が良好であることも人生にとって大切であると、経験から学んだのでしょう。

子どもたちにとって、安心して過ごせる家庭があり、困ったときに相談できる、一緒に考えてもらえる、失敗しても大丈夫だと思わせてくれる家族や友人がいることは何かにチャレンジをしたり、決断したりするとき大きな支えになります。一步を踏み出す勇氣をもらえたり、たとえうまくいかなかったとしても再度チャレンジをする気持ちにさせたりするということ。家庭の中で一人一人が「和楽」を心がけていくことが、子どもたちの健全な成長を支える上でとても大切になってきます。

☆チャレンジ期間☆ 8月下旬～9月上旬

2学期がスタートしました。夏休み中、頑張った課題は必ず学校に提出しましょう。

2学期はたくさんの行事があり、運動会(体育祭)や高原学校、職場体験、修学旅行、合唱コンクールなどを予定している学校が多いようです。興味のある行事や授業があったら勇氣を出して一步を踏み出し、参加してみましょう。新たなスタートができるよう家庭でも話し合ってください。応援しています!!



☆ 今後の予定 ☆

- 8月下旬 始めの会(始業式)
- 8月下旬～9月上旬 チャレンジ期間
- 9月上旬 調理実習②「いももち」
- 9月中旬 運動日③野外活動センター
- 9月下旬 「あぶろーち」説明会②
- 10月上旬 野外体験学習(野外活動セ)
- 10月中旬 ふれあい活動④大川美術館
- 10月中旬 調理実習③「スイートポテト」
- 10月下旬 ふれあい活動⑤「幼稚園訪問」
- 11月上旬 運動日⑥野外活動センター

2023年8月25日発行
TEL 43-2602